

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担当 課	KPI（成果指標①）								KPI（成果指標②）								R7当初 予算額 （千円）	R7決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性			
					指標名	基準 年度	基準値			中期 目標	R7目標値	R7実績値	達成率	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R7目標値	R7実績値	達成率								
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																												
DXによる市民サービス向上	1	証明書コンビニ交付サービス維持管理事業	マイナンバーカードを活用した証明書コンビニ交付サービスを実施する。	区政推進課	コンビニ交付対象証明書に占めるコンビニ交付の利用率の向上	R5	50.0	%		R7年度までの目標：50.0%	50.0	%	50.7	%	101.4									57,352	54,501	順調	人口に対するマイナンバーカードの保有率は目標値に向けて順調に増加している。 また、コンビニ交付対象証明書に占めるコンビニ交付の利用率も目標値である50%を越え、市民の利便性向上と窓口混雑の緩和に一定の成果を上げている。 令和8年度はコンビニ交付手数料一律10円キャンペーン等を実施し、更なる市民周知と利用促進を図る。	継続
Ⅲ「安らぐまち」の実現																												
ソーシャル・キャピタル（地域における繋がり）の強化	2	地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を一本化し、まちづくり協議会に交付する。 地域総括補助金が校区内の課題解決に向けた横断的な取組につながるよう、制度の目的や活用事例の周知を図る。	地域振興課	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	H26	130	団体	—	137	団体	137	団体	100.0%										270,700	262,241	順調	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数は、目標を達成した。 今後も、地域総括補助金の制度目的や活用事例の周知を図り、地域課題の解決に効果的に活用されるよう取り組んでいく。	継続
	3	市民センター管理運営・整備事業	市民（サブ）センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域振興課	若者・現役世代の利用率の増加（行政評価に係る市民アンケート：毎年度）	R6	20.4	%	—	R6年度比増		23.5	%	115.2%										2,423,778	2,355,589	順調	多世代による市民センターの利用を促進するため、「北九州市市民センター条例」を改正し、有料のイベントや講座、商品販売等ができるよう利用目的の多目的化を行った。	継続
地域活動の抜本的な見直しによる活発化	4	協働による地域の力活性化支援事業	持続可能な地域コミュニティづくりを進めるため、子育て世代等が参加・交流できる運営や新たな住民ニーズに応える活動に取り組む自治会を支援するとともに、大学生やNPO等、新たな担い手の参画の仕組みづくりに取り組む。	地域振興課	地域づくり活動への参加者の割合の増加（行政評価に係る市民アンケート：毎年度）	H29	39.6	%	—	50.0	%	28.8	%	57.6%										5,380	1,028	やや遅れ	「地域づくり活動への参加者の割合」は令和7年度28.8%であり、目標に対する達成率は57.6%であることから「やや遅れ」と判断。 今後も、市民の地域づくり活動への参加割合を増やすため、継続的な働きかけを推進していくとともに、「北九州市地域コミュニティビジョン」に基づく取組等を実施していく。	継続
	5	全世代参加型地域コミュニティ推進事業	2040年の社会情勢等を踏まえた新たな地域コミュニティの在り方について、有識者等から意見を聴取する「（仮称）地域コミュニティビジョン検討会議」を開催し、検討会議での意見を基に、「（仮称）北九州市地域コミュニティビジョン」を策定する。	地域振興課	地域コミュニティビジョンの策定	—	—		R8年度までの目標：策定	単年度目標設定なし	—	—		—										28,000	18,150	順調	令和7年度から、地域コミュニティの将来像について議論を開始し、「北九州市地域コミュニティビジョン」の素案を取りまとめた。 目標としていた令和8年度中に「北九州市地域コミュニティビジョン」を確実に策定できる見込みであることから、「順調」とした。	継続